

小海高等学校生活指導係発行

今週末から衣替えです。

6月から衣替えとなります。（実際に本校では6月3日(月)から。）

本校の夏服は以下のとおりです。

なお、中間着は6月1日から9月30日までは着用できません。



<夏服の確認>

(男子) ワイシャツ+ネクタイ+ズボン か ポロシャツ+ズボン が基本
寒いときにはブレザーを着用してもよいが、ポロシャツの上は不可
「ワイシャツ」は本校指定の長袖・半袖シャツどちらを着てもよい
「ワイシャツ」を着るときは必ずネクタイを着用する
「ワイシャツ」は必ずズボンの中に入れて着用する
「ポロシャツ」はズボンの中に入れる必要はない

(女子) ブラウス+リボン+ベスト+スカート か ポロシャツ+スカート が基本
スカートの代わりにスラックスを着用してもよい
寒いときにはブレザーを着用してもよいが、ポロシャツの上は不可
「ブラウス」は本校指定の長袖・半袖ブラウス、どちらを着てもよい
「スカート」は夏用・冬用どちらでもよい
「ブラウス」を着るときは必ずリボンとベストを着用する
「ポロシャツ」はスカートの中に入れる必要はない

なぜ、制服を着崩してはいけないのか！

学校制服の始まりは？現在の学習院大学が発祥だそうです。海軍の軍服を思い出してください。ボタンがないホック式の制服、あれが学校制服の第1号です。官立（当時）の学習院の海軍軍服に対して、一般学校では陸軍式軍服の「学生服」が広がったということです。この制服も軍服も、葬儀や結婚式に着用していきます。つまり、制服は服飾文化では「フォーマルウェア」なのです。

ポイントはここです。「フォーマルウェア」の着こなしにおける最大のルールは「ドレスダウンは存在しない」という点です。燕尾服の袖をまくって、結婚式やノーベル賞授賞式に参列する人はいません。つまり制服・軍服において「着崩す」という概念は存在しないのです。よって制服を着崩して、例えば襟出しをしたり、ボタンを外したりしていることは……「ファッションを知らない」ということ！なんですね。ここはひとつ、服飾のマナー（ファッションの原点）に立ち戻ってみようではありませんか。